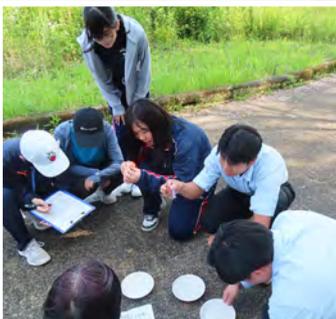
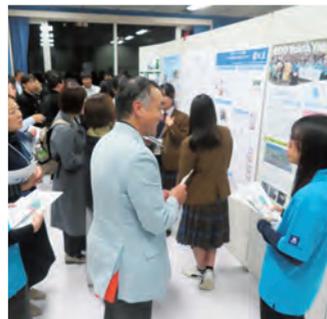




**ECO Youth  
Yatsushiro**  
エコユースやつしろ



**Let's connect  
Yatsushiro  
with the World!**

# ECO Youth Yatsushiro Report 2025



**ECO Youth Yatsushiro**

*Let's connect Yatsushiro  
with the World!*



エコユースやつしろ  
次世代のためにがんばる会  
活動報告 2025

次世代のためにがんばる会  
<https://www.ganbarokai.net/>

# 生き物潟り フェスタ

守ろう!! ホットなあそび場。  
「生きものから始まる人とのつながり」

八代市は、球磨川や干潟、豊かな里山など、多様な自然環境に恵まれています。

「生き物潟りフェスタ」は、こうした地域の自然や生きものの魅力を“知る・感じる・語り合う”場をつくることを目的として開催しています。

八代の豊かな自然の中で生きる、たくさんの命たち。このフェスタは、生きものの魅力を「見て・学んで・体験して」楽しむイベントです。

子どもから大人まで、だれでも参加OK! 自然観察、体験コーナー、展示、クイズなど、楽しく学べる企画が盛りだくさん! いっしょに八代の自然の物語を語り合い、未来へつなげませんか?



この、「生き物潟り」は再生事業で生まれた干潟ですが、目視確認できるベントスが100種以上いると思われます。エコユースやつしろと共に、現在までに、50種類のベントスを発見しています。

## ECO Youth Yatsushiro

ひのくにベントス  
研究所 所長  
森 敬介 先生



地域を超えて広がる未来の波  
SDGs ユースによる海洋保全プロジェクト

# 調べよう。 生きもの。 湿地の再生。

生き物漁り (いきものがたり)

▲再生湿地の名称が決まりました

守ろう!! ホットなあそび場  
「生きものから始まる人とのつながり」

## 調査のスケジュール(予定)

以下の日程はあくまで予定です。  
詳細は「次世代のためにがんばる会」のHPでご確認ください。  
<https://www.ganbarokai.net/>  
(全ての活動に参加する必要はありません。ご都合に合わせてご参加ください。)

### 《2025年》

- 4月13日(日) / 15:00~17:00
- 5月25日(日) / 12:00~
- ★干潟フェスタ★大海岸清掃大会
- 6月22日(日) / 13:30~15:30
- 7月13日(日) / 16:00~18:00
- 8月17日(日) / 09:00~11:00
- 9月23日(日) / 16:00~18:00
- 10月19日(日) / 10:00~12:00
- 11月3日(日) / 13:00~15:00
- 12月14日(日) / 09:30~11:30



### 《2026年》

- 1月10日(土) / 時間未定
- 2月21日(土) / 時間未定
- 3月15日(日) / 時間未定

◎調査日は天候などによる変更があるかもしれません。  
次世代のためにがんばる会のHPで確認後、ご参加ください。



## 河口域・汽水域の干潟、ヨシ原再生

球磨川河口(前川)では、九州地方整備局八代河川国道事務所が掘削土砂の有効活用として、干潟及びヨシ原としての再生に向けた取り組みが進められています。「SDGs海洋保全プロジェクト」は、九州地方整備局の協力を得て、高校生や地域のみならず、市民参加でさらなる環境再生活動に取り組みます。



## ユースと市民による生きもの調査

エコユースやつしろと市民とで、球磨川河口(前川)の干潟に生息する生物の調査と観察会を実施します。干潟の生き物調査を通じて、ユースと市民で楽しみ、少し専門的な部分も学びながら、干潟の生物多様性や重要性を体感し、次世代へつなげる持続可能な球磨川河口の環境保全を考えます。



## 調査員募集!!

高校生や市民で、年間を通して干潟の生物調査を手伝っていただける方を募集しています。親子参加も大歓迎です!! 毎回、専門家がわかりやすく指導します。小学生からシニアまで、生きものや環境に関心のある方は、気軽ににご参加ください。

問い合わせ・申し込み/E-mail: [kankyo@eco-yukarin.info](mailto:kankyo@eco-yukarin.info)  
TEL080-5253-5081(担当:松浦)



主催/次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>  
後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会



ECO-YOUTH  
TH-YATSUSHIRO

## 「生き物漁り」の生きもの調査

毎月開催/前川河口「生き物漁り」

私たちは、ひのくにベントス研究所所長の森敬介先生のご指導を受け、毎月干潟で生きもの調査をしています。この干潟は国土交通省八代河川国道事務所が10年前から進めている「ヨシ原再生地:エコトーン/愛称(生き物漁り)」です。整備当初は、生きものが少ない状況でした。しかし、この数年で希少種もたくさん観ることのできる素晴らしい干潟に生まれ変わっています! 貝類や甲殻類など多くの種類の生きものを見つけることが出来るし、これらを餌にしているクロツラハラサギなどの希少種の鳥たちも観察することができます。たくさんの種類の生きものたちの棲む八代の干潟をこれからも継続して毎月観察していきます。



## ヨシ原やその周辺に生息



フトヘナタリガイ



ヒラドカワザンショウガイ



オカミガイ



ハマガニ

## 干潟に生息



チゴガニ



ヤマトオサガニ



コメツキガニ



ハクセンシオマネキ

Let's connect Yatsushiro with the World!

# エコユースやつしろ メンバー募集!

八代には、豊かな水環境が息づいています。球磨川や、その地下水、伏流水は私たちに様々な恩恵を授けてくれ、河口には生態系豊かな干潟が広がって多くの渡り鳥が訪れます。エコユースやつしろは、水環境や干潟の幅広い知識を専門家から学び、体感し、「水」に関する環境保全意識を高めて、地域と世界に向けて発信する八代の高校生を募集します!!



【毎月】  
湿地再生  
「生き物湧り」  
生きもの調査

球磨川河口  
エコトーン  
干潟フェスタ  
【調査・清掃】

九州高校生  
SDGs  
高校生サミット

水防災  
歴史遺産見学会  
水と食・関連講座  
など

## 八代を学び、 守り、繋ごう、 次世代へ。

「水」をキーワードに八代の環境問題を学ぶ体験型プログラム

【募集概要】

- ▶ 募集対象 / 大学生・高校生・中学生(保護者承認)
- ▶ 申し込みはメールのみ / [kankyo@eco-yukarin.info](mailto:kankyo@eco-yukarin.info) (松浦)
- ▶ メンバーは全てのプログラムに参加できます (無料 / 一部有料)



主催/次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>  
後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、  
ひのくにベントス研究所、NPO法人 海辺つくり研究会  
申込み・問合せ/次世代のためにがんばる会事務局(担当:松浦)  
E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081

「ECO Youth Yatsushiro」の活動は、  
河川基金・地球環境基金の助成を  
受けて実施されています



ECO-YOUTH  
TH-YATSUSHIRO

## エコユースやつしろ説明会

4月29日 tue. / 桜十字ホールやつしろ

▼年度始めに「エコユースやつしろ」の体験活動紹介をしています

- ・思っていた以上に活動が多くて驚いた。高校生中心に行われていて良いと思った。干潟フェスタの活動をしてみたい。色々な活動に対して積極的に参加したいと思った。
- ・いろいろな活動をなさっていて参加できる時は参加したいと思いました。
- ・行政ヒヤリング、九州高校生SDGsサミットに参加したい。自分で色々なことに参加し、色々と賢くなりたいと思いました。
- ・いろんな活動があって面白いなと思った。干潟フェスタをしたい。とても楽しそうな活動ばかりで参加してみたいと思いました。
- ・もうすぐ始まる干潟フェスタや8月に行う大掃除大会がとても面白そうだった。メンバーで運営して生き物湧りを広めたり、普段一ヶ月ごとにやっている生き物調査を体験したりと楽しそうだった。学校の授業で探究で防災やっているのので、防災関連の活動は参加したい。まだ生き物調査に1~2回参加ぐらいですが、十分楽しくて今回、今後の活動内容を聞いたときにもっと楽しそうだなと思った。学校の探究活動にも生かしたい。
- ・自分が参加していなかった活動まで知ることができた。自分の活動紹介はあまり上手にできなかったがなんとか終わらせて良かった。様々な活動を知れて良かった。生き物湧りフェスタ実行委員では、昨年とは違う役割りになったので頑張っていきたい。
- ・自分が思っていたよりもたくさんの活動があっておどろいた。チームメンバーが主体的に動いているのがいいと思った。干潟フェスタ、大掃除大会に参加したい。地域のことを知るためにも、自分の進路のためにもできるだけ参加したいと思った。八代のためになることを自発的に行っているすてきな団体だと思った。



球磨川 幹川・海川  
干潟再生地

いきものがたり  
生き物潟り

守ろう! ホットなあそび場  
「生きものから始まる人とのつながり」

第2回 球磨川河口エコトーン

# 生き物潟りフェスタ

(いきものがたり)

【第21回 八代海河川・浜辺の大そうじ大会】

球磨川・八代海の沿岸において、漂着物ごみ拾いと分別を行い、環境保全につなげ、ごみ問題や河川・海洋環境の保全の周知と将来の球磨川・八代海を守り、次の世代に引き継ぐ人材の育成を目指して開催します。また今回は、参加した青少年と官・学・民・産が、球磨川保全や、漁協関係・海の恵みへの理解のための交流会も企画しました。

日時: **5月25日(日)** 13:00~15:30(12:30集合)

▶展示ブース出展の団体・学校は11:00までにご集合ください。▶一般参加の方々は12:30にご集合ください。

集合: 八代市中北町 南川及び前川河口部 (地図参照)

参加無料 (小雨決行・大雨延期の場合はHPでお知らせします)

プログラム ▶開会式(運営説明) / 13:00

①ごみ拾い・ごみの分別作業 / 13:30~14:00

②浜辺の交流会 / 14:00~15:30

- ・生き物調査会(イベント調査) ・生き物学習会(塩生植物観察)
- ・各団体、企業の活動紹介など ・不法投棄現場のパネル展示
- ・参加者の声の動画撮影会など

▶閉会式

持参するもの

- ★河川そうじ、生き物調査は、ケガ防止のため長袖・長ズボンをお願いします。
- ★長くつ(または泥に汚れてもよいスニーカー)、軍手の準備をお願いします。
- ★熱中症対策で、飲料(水筒)、帽子も持参してください。
- ★ゴミ回収袋、トングなどは準備しています。

保険について

参加者全員に活動保険をかけるので、高校生は各団体の先生に申し込んでください。団体や企業参加は事務局・松浦 (E-mail: kankyo@eco-yukarin.info / TEL080-5253-5081) までお申し込みください。

展示

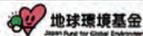
展示ブースでエコ活動紹介(パネル、パンフレット、物品などの展示をいたします。出展希望の学校、団体、企業を事務局へ、(5月15日締め切り) 事務局・松浦までお申し込みください。

主催/次世代のためにがんばろう会 <https://www.ganbarokai.net/>  
 後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会  
 ひのくにベントス研究所、NPO法人 海辺つくり研究会  
 申込み・問合せ/次世代のためにがんばろう会事務局(担当:松浦)  
 E-mail: kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081



エコユースやつしろ

ECO Youth Yatsushiroの取組は、財団法人地球環境基金の協賛を受けています。



スペシャルゲスト  
くまモンとちくワンが  
やってくるぞ!!  
出動時間: 13:30~14:00 (予定)



©2010 熊本県くまモン

ちくワン



ECO-YOUTH  
TH-YATSUSHIRO  
SHIRO

## 第2回 球磨川河口エコトーン 生き物潟りフェスタ

(第21回 八代海河川・浜辺の大そうじ大会)

5月25日 sun./前川河口「生き物潟り」

今回の生き物潟りフェスタに参加して、生き物潟りの生態系や環境についてよく知ることが出来ました。今回はタッチプールを担当して、来てくれた小さい子や中高生と交流出来たのも良かったです。来年もぜひ参加したいなと思いました。

私は2回目の参加で、去年より多くの方が「生き物潟り」に来ていただいて、とても嬉しかったです。市民の方と一緒に生きもの調査では、たくさんの熱意のある方々が楽しそうに調査を行っていてとても良かったです。このようなイベントで少しずつ、「生き物潟り」のことが広まっていくといいなと思いました。

今回初めて生き物潟りフェスタに参加してみて、様々な生き物の名前や特徴を知ることができました。これまで干潟に生息している生き物と触れ合う機会が無かったので、楽しみながら学ぶことができて良かったです。今後行われる生き物調査にも積極的に参加し、知識を深めたいと思えるイベントでした。

干潟フェスタに参加して、多くの人と関わりながら、助け合うことの大切さを実感しました。初めは不安もあったけど、参加者の方と一緒に干潟の調査が出来て貴重な経験になりました。今後も積極的にいろんな行事に参加していきたいです。

始まる前に準備の段階で塩性植物についていろいろと知れて良かったです。普段の生き物調査であまり意識して見ていなかったのですが、今回この干潟には植物もたくさんの種類があることを知ることができました。あまり成長していないものがあったので生き物調査のときにその植物が大きくなる時期にまた調べてみたいです。



### いきものBINGO



★このBINGOは、生き物潟りフェスタに参加した方全員に配布されています。BINGOを完成させた方は、生き物潟りフェスタ事務局までお申し込みください。お申し込みは、5月25日(日)15:30までです。

★BINGOの完成した方は、生き物潟りフェスタ事務局までお申し込みください。お申し込みは、5月25日(日)15:30までです。

カード作成: エコユースやつしろ 4期生 徳田もも

# 見えない力、 微生物が守る 水と食の未来

## 食の安全講習会【乳製品と微生物】

「食」は生命維持の原点であり、私たちの健康を保つだけでなく、健全な心と身体を培い豊かな人間性を育むために大きな役割を担っています。今回は、乳製品と微生物の関係に焦点を当てました。微生物が発酵を促し、製品の風味や食感に影響を与えていることや、サルモネラ菌などの病原菌のリスクを本講座で詳しく解説していきます。牛乳やチーズなど身近な食に関する話題についてわかりやすく学ぶ講座です。

日時：7月5日(土) 9:00~12:00

会場：桜十字ホールやつしろ

八代市新町4-5-20 TEL 0965-53-0033

一般参加OKです/参加無料(定員100名)

事前申し込み制で、定員に達した場合は、申し込みを締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

【要申し込み・問い合わせ】

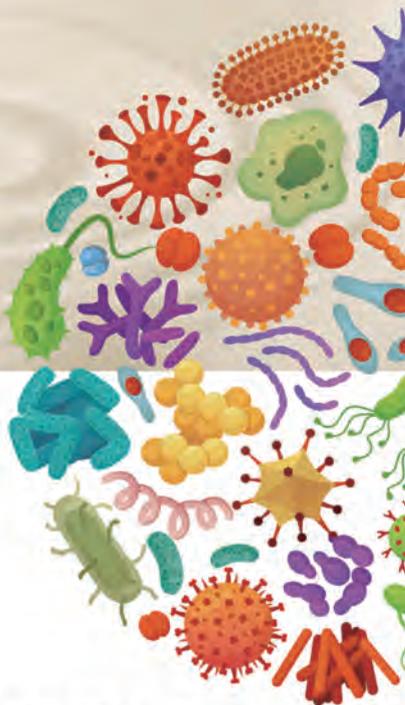
E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081(担当:松浦)



毎日の食事に欠かせない乳製品



2024年「食品表示と食の安全」講習会の様子



### 《プログラム》

講演「乳製品と微生物の関係」

講師：森田 洋(北九州市立大学 教授)

講演終了後、質疑応答



講師プロフィール

森田 洋

北九州市立大学 国際環境工学部  
環境生命工学科 教授

1970年愛知県名古屋生まれ。1999年九州大学大学院農学研究科博士課程修了、博士(農学)学位取得。その後、八代高専(現 熊本高専)生物工学科教員を経て、2001年4月より本学教員、2014年より本学教授。現在、生命工学科長を務める。「食品、微生物、農業(い草)」をキーワードに教育研究活動を行っている。

【学会活動・社会活動等】  
次世代のためにがんばろう会顧問、室内環境学理事・出版委員長、日本防菌防霉学会評議員、Journal of Microorganism Control Editor-in-Vice Chiefなど、日本防菌防霉学会研究賞(2023)、ものづくり日本大賞特別賞(2012)、数物新聞社特別労賞(2006)など受賞。



Eco Youth  
Yatsushiro  
エコユースやつしろ

主催/次世代のためにがんばろう会 <https://www.ganbarokai.net/>  
後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会  
ひのくにベンツ研究所、NPO法人 海辺つくり研究会



ECO Youth Yatsushiroの活動は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



ECO-YOUTH  
TH-YATSUSHIRO  
SHIRO

## 食の安全講習会【乳製品と微生物】

7月5日sat./桜十字ホールやつしろ

初めて知ることがとても多く、とてもためになる講演でした。体に良いものがどういうものかわかりました。今後の生活にも生かしていきたいです。(16才女性)

昨年は、表示食品についての講演会で今年は微生物についてと食生活について考え直したり、微生物にもいろいろな微生物がいるということを知れ、これから活かせる貴重な時間になりました。(16才女性)

豆知識として知っていた部分もありましたが、赤ちゃんに乳製品を与えてはいけない理由を深く知っていませんでした。将来はこのようにことを思い出しながら生活したいと思いました。普段ヨーグルトや牛乳など口にしないのでこの機会に食べてみようと思います(17才女性)

乳製品はヨーグルトを食べることが多いのですが、食べる時間や表示について詳しく考えることがなかったのでとてもいい機会でした。また、ただ風邪をひかないために微生物を取り除きすぎるのもかえって免疫力を下げると知り驚きました今回学んだことを家族に話してみたいと思いました。(15才女性)

微生物は制御しすぎず、微生物との共存が大切だと分かりました。私はあまり発酵食品食べないんですけど腸内環境を整えるトクホなど生かそうと思います。ありがとうございました。(15才女性)



## 未来へつなぐ、梅干しづくり体験

6月22日 sun./桜十字ホールやつしろ

近年、農村地域では急速な高齢化が進み、これまで家庭で漬けられてきた梅干しの文化が失われつつあります。

かつては各家庭の軒先で赤しそとともに漬けられた梅干しは、長期保存が可能な「自然の知恵」として、食文化の一端を担ってきました。しかしながら、現在では「梅を実らせても、もう漬ける人がいない」、「木の下に落ちて腐のを待つだけ」という声が多くありません。

一方で、食品ロスは社会的にも大きな課題となっており、「まだ食べられるのに廃棄されている食品」は、日本国内でも年間約500万トン以上にのぼります。この未活用の梅の実も、まさに地域に眠る食資源のひとつです。

本体験活動では、地域の高齢者の方々が漬けられなくなった梅を譲り受け、青少年たちが伝統的な梅干しづくりを体験します。単なる調理体験ではなく、「食べ物を無駄にしないこと」、「自然の恵みに感謝すること」、「地域の知恵を学ぶこと」を主軸とした、実践的な学びの機会とします。

未来を担う子どもたちが、地域の課題を自分ごととして体験し、「もったいない」、「いただきます」の意味を肌で感じることは、持続可能な社会の第一歩です。



## SDGsワークショップ(神田先生)&すごろく作成

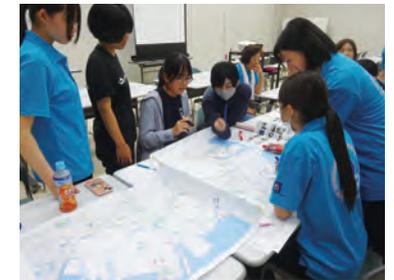
7月27日 sun./桜十字ホールやつしろ

最初の目標を達成することができて、インプットはできたけどアウトプットはできる自信がまだまだないので知識をどんどんふやして行って、人に簡単に分かりやすく説明できていたらなと思いました。SDGs以外の目標も人に伝えて協力し合うことが大切だと思いました。

ゲームや講話を通して、課題を教え合い、お互いに助け合うことや、認証マークなどについて学ぶことができた。これから、今日学んだことをみんなに紹介して、SDGsの活動を促進していきたいと思う。

今日のお話やSDGsのカードゲームを通して、1つの行動が連鎖して地球に繋がっているという新しい視点を得ることができました。また、課題を解決するだけでなく、今ある良いところを守っていくということも大切なんだと改めて思いました。自分のためにも周りのためにもできることを着実にしていきたいと思います。

SDGs講座ではSDGsの問題についてみんなと話し合いながら声を出しながら問題やいい所について考えることで理解力が深まりました。また、ゲームを行った事でSDGsを達成するためにはみんなで話し合い、必要なものを補いながら達成することが大切だと学んだのでSDGsについて周りの人に伝えてすべてのSDGs課題をあげる努力をみんなですていきたいです。





共催：次世代のためにがんばろう会 (<https://www.ganbarokai.net/>)、team長崎シー・クリーン  
 後援：農林水産省九州農政局、環境省九州環境事務所、国土交通省九州地方整備局港湾空港部、長崎県、長崎市、八代市、八代市教育委員会  
 連絡先/team長崎シー・クリーン&長崎大学 (出水) E-mail: demizu@nagasaki-u.ac.jp TEL070-6596-4691  
 次世代のためにがんばろう会(松浦) E-mail: kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081



# ECO-YOUTH YATSUSHIRO 第3回九州高校生SDGsサミット in福岡

7月19日 sat. 20日 sun. / 和白公民館・和白干潟

今年度のテーマ：海洋生物の環境・海洋環境と生態系  
 共催：次世代のためにがんばろう会・team長崎シー・クリーン  
 後援：環境省九州地方環境事務所、国土交通省九州地方整備局 農水省九州農政局、八代市、八代市教育委員会  
 参加者：城東高校、新宮高校、山門高校、佐賀西高校、高志館高校、FFC・team長崎シー・クリーン、葦北高校、エコユースやつしろ(3つの高校) 高校生+教諭・スタッフ+国土交通省、環境省、大学教授など 総合計80人



## <各省・大学の先生方の講演の感想>

・本日は、お忙しい中ご講演していただきありがとうございました。私は、防波堤がどれだけ災害を大きく防いでいるのなかとということが分かりました。防波堤は、作るだけでもとてもお金がかかりますが、住みやすい街づくりをするために、お金をかけてでも防波堤を作って災害を防いでいることがとてもすごいと思いました。また、防災のために防波堤を作るのではなく、さまざまな生き物が過ごしやすいするための防波堤の工夫など、災害以外の環境についてよりよい防波堤を形成されていることを知り、とても驚きました。干潟については、魚や鳥など負荷なく過ごしやすいために干潟が大切なものだということが分かりました。

・この二日間、多くの方々の講演を聞いて、たくさん学びを得ることができました。まずは、SDGsは、僕のような子どもだけでなく環境省や国土交通省など国もがんばってなしとげようとしていると知りました。その中で、僕らは自然を守るためには都市の開発をとめるか、都市の開発のためには自然をこわすしかないかと思っていました。しかし、数々の研究・開発によって都市の開発、人々を災害から守りつつ、自然も守り続ける、自然をさらに良くするものがあると学び、僕もいつか力になりたいと思いました。

## <ワークショップの感想>

・ワークショップに参加して、思ったことはフォロワーとして意見や考え方などを出しながら、必要な物に順位をつけていって話し合いながらどれが一番最適化、また、いろんな考え方などがあるということがわかりました。すごい楽しかったです。

・NASAの問題を解くにあたって両者の意見を斟酌して、最適な結論を導き出すことが難しかった。しかし相手に納得してもらいたいと思うので議論が捗ったし意見決定のプロセスを体験できたので良かった。また批判的な意見があるからこそ議論は盛り上がるし考えや意見に磨きがかかるなど感じた。批判的に物事を捉えるべきだと言うと少し語弊があるが、少なくともそれは物事を真剣に考えていたり客観的に捉えようとしているということであり、「批判的に物事を捉える視点を持つべきである」という言葉を肯定すると思った。

## 第3回九州高校生SDGsサミット in 福岡

7月19日 sat. 20日 sun. / 和白公民館・和白干潟

### <和白干潟体験の感想>

・色んな生物がいて、海もすごい壮大でこの自然を守っていきたくて思った。砂浜に大量のごみがあったのがすごく悲しかった。佐賀の海も大切にしたいと思った。

・「私は有明海の干潟のほうが身近だったので、そこはまた違った干潟の様子を知れて面白かったです。

・以前、八代の干潟で見たカニが和白干潟にもいることを知って驚いた。

・大潮では無かったし、時間が大幅にずれたこともあって干潟というより海という感じでしたが、少し砂が残っているところだけでもたくさんのウミナガシがいたり、行き道にはカニが3種類くらいいて、やはり海には多様な生物がいるのだと分かりました。

### <全体の感想>

・今回のサミットでは、環境や各高校・団体の取り組み、現状などについて知ることができました。干潟には行けなかったけど、夕方にチームの人とたくさん話せたので良かったです。2日目では、NASAゲームで、フォロワーの役割をしました。みんなで意見を交わして順位を考えてたくさん話することができて、楽しかったです。なかなか、他校の方たちと話す機会がないので良かったです。

・私はサミットを通して、今の各地域が抱えている課題や問題を知ることができたりそれに応じた解決策や研究を学ぶことができとても嬉しかったです。また、ワークショップではグループの人と協力してクイズを解いたりたくさんコミュニケーションができてすごく楽しかったです！ 今回のSDGsサミットで学んだことや体験したことをこれからのエコユースの活動や日常生活に活かしていこうと思います。次もこのような機会があれば参加してみたいです。



## 水環境施設見学会・不法投棄見学会 7月31日thu.

- ①国土交通省八代河川国道事務所 ②萩原樋門 ③国道事務所八代出張所 ④水処理センター  
⑤八代中央排水機場 ⑥不法投棄現場(2か所)

### <ユースの感想>

・球磨川の出張所では 初めて堰の役割について聞きました。堰は川の水の量を調整して大雨のときを管理されているということが分かりました。水処理センターでは、機械ではなく主に微生物が使われていることがおどろきでした。不法投棄現場では川沿いにゴミがすてられたり、そうじきなどがあって自分は 小さなゴミでもすてないようにしようと思います。

・普通の学校の授業では学ぶことができないことをたくさん学ぶことができ、自分にとってとても実のある経験をする事ができた。特に、国土交通省八代河川国道事務所は、普段の生活では行くことができない場所だったので、とても貴重な体験をすることができたと思う。今日の活動も、自分がはじめて知ることばかりだったので、今回の経験も心に留めておきたいと思った。

### <小学生の感想>

・わたしが一番心にのこったことは八代しゅっちょうしよです。そのわけは、すいがいがおきそうになってもパソコンや、ぼたんで、水をふやしたり、少なくしたり、ちょうせいができるし、みんなにほうそうで「にげてください」という、しごとをしていらしたのが心にのこりました。

・さいごに行ったところで、岩のあいだに、ゴミがたくさんおちていました。そんなにゴミをすてる人が多いのをしりました。

・わたしは、水しよりセンターでどうやって水をきれいにしたり、どこからよごれた水がきているのかが分かりました。まずよごれた水はわたしたちの水どうかんから来ていることが分かりました。そしてびせいふつという生物が水をきれいにしていると分かりました。



## 知花先生オンライン講演会

5月1日 thu. / オンライン講演(自宅)

今日の講義はとても面白かったです。今まで知っていた事も知らなかった事もいろんなことが私たちの身の回りのことに繋がっているんだなと思い、勉強大切だなと改めて感じました。大学に行くのは良い仲間たちと出会うためだと聞き、確かに大事だと思ったので、勉強頑張って良い仲間をたくさん作りたいなと思いました。



【もらった宿題】八代の球磨川に似た川は？

川名	球磨川	玉ヶ瀬川水系
流域面積	1,860km <sup>2</sup>	1,820km <sup>2</sup>
幹流流路延長	115km	106km
年平均降水量	2,850mm	2,500mm
流域内人口	約13万人	12万8千人
流域関係県	熊本、宮崎、鹿児島	大分、宮崎、熊本
水源	鏡子笠 標高1,489m	向坂山 標高1,684m



エコユースで学んできたような自然(河川)と各教科を結びつける今回の講演は新体験で何時間でも聞きたいくらい本当に面白かったです。日本刀の話など今まで知らなかった興味深い話が沢山ある事を改めて実感しました。知花先生が全国の河川を巡ったように私も何か熱中できることを見つけて色々な体験をしたいです。現在高校3年生なので、大学で素敵な仲間たちと出会うことを目標に受験勉強に励みたいと思いました。素敵な講演ありがとうございました。

今回のオンライン授業に参加して川についてのお話をされて、ここまで掘り下げては考えたことがなかったのでとてもためになりました。地形図の見方はさまざまあり、どの方向からみてもその土地が荒れているのか、整っているのかわかるというのが知れました。例えば、等高線をみたり、地図記号の配置を見て、様子を探るとかもできるとわかりました。また9教科がこんなにも繋がるなん

て信じられませんでした。それだけ繋がって頭に残りやすくなりました。チャットでもたくさん答えさせていただき楽しい時間でした。聴いたことのある語句も出てきて、久しぶりの内容も盛りだくさんでした。また新しい語句は初めて聴いた語句ばかりで勉強になりました。大学では苦手科目関係なしに新たなスタートだとわかり、少し安心しました。勉強をゲームのように考えるとモチベーションも上がっていくのかなと今回考えさせられました。大学行けてよかったという実際の体験談から、尊敬できる人たちとの出会いが生まれるなんていいなと思いました。問題形式で興味を持てる内容でした。今回お話しくださりありがとうございました。

## 球磨川水質検査と上下流高校交流

5月31日 sat. / 球磨川上流(あさぎり町)



ツクシイバラの自生地を守るために除草作業をしたり多くの人に知ってもらったりしていると聞き、一時は絶滅の危機が高まっているのにも関わらず保全に成功していることに驚きました。でもなるべく人の手を加えないようにと工夫されていることにもすごいと思いました。ツクシイバラは、色が白、ピンク、赤っぽい色と様々できれいでした。また、花の香りも今まで嗅いだ匂いで一番優しく良い匂いがしました。

次世代のためにがんばる会の皆様と交流活動ができてすごく勉強になったし、いい経験になりました。私は自然のことには興味があったけど、あまり詳しく自然のことについて学ぶことがなかったので、すごく色々なことをしてよかったです。私の故郷錦町のツクシイバラなのでこれからももっと色々な人に伝えて行くと同時に、色々な地域のことも学んで行きたいと思いました。今回の交流はすごく楽しかったです。また機会があればよろしくお願い致します。(南稜高校 Hさん)

次世代のためにがんばる会の皆さんと交流ができとても良い経験になりました。私は南稜高校の環境コースで学んでおり日頃から環境問題などについて学びを深めてきました。そんな私にとって八代で活動なさっている仲間との縁ができとても嬉しかったです！私も生まれ故郷の誇りである球磨川流域の環境を守っていきたくと思っています。だからこそ皆さんとの交流をもっと深めてより良い環境創りを実現していきたいです。今回の交流会すごく楽しかったです。次は南稜高校のボランティア部がそちらにも行ってみたいです！(南稜高校 Hさん)





# Project WET

アクティブ・ラーニング型  
国際水教育プログラム

## プロジェクトWET エドゥケーター養成講座

公益財団法人河川財団 認定講習会

生命が生きて行くため、社会活動のため必要不可欠である「水」。気候変動、水害、水の偏在など今まさに深刻化している課題があります。地球規模のグローバルな課題を理解すること、そしてそのために各地域の解決策を見いだすこと。水の価値を理解し、持続可能な未来とするために水についての教育はますます重要になっていきます。この講座では、参加者がプロジェクトWET (Water Education Today)のエドゥケーターとしてプロジェクトWETの教材やアクティビティを効果的に活用し、水教育の推進に貢献する能力を身につけることを目指します。(参加者は、講座修了後にエドゥケーター資格を取得することができます。)



主催/次世代のためにがんばろう会  
<https://www.ganbarokai.net/>



ECO Youth Yatsushiroは河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます

河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています

地球環境基金  
Japan Fund for Global Environment

日時: **8月9日** 土 9:00~16:30

会場: 桜十字ホールやつしろ (八代市新町5-20)

参加費: 一般参加 4,800円(ガイドブック・昼食費含む)  
学生・教員 3,800円(学生証・教員免許をご提示ください)

持参品: 筆記具、ノート、飲料など

《要申込み: 定員20名》

問合せ・申込み/E-mail: [kankyo@eco-yukarin.info](mailto:kankyo@eco-yukarin.info)  
TEL 080-5253-5081 (担当: 松浦)

### 《プロジェクトWET講座》

- 講師: 菅原 一成 (プロジェクトWETジャパン)
- ファシリテーター/中山、倉嶋、山崎、松浦

### 【講座内容】

- プロジェクトWETの概要と目標 ● 持続可能な水管理に関する基礎知識 ● エドゥケーターとしての役割とスキル ● プロジェクトWETの教材とアクティビティの活用方法 ● 実践的なグループワークやディスカッション

### 【参加対象者】

- 教育関係者、水教育に関心のある行政職、一般の方 ● 環境教育に興味や関心がある方 ● 持続可能な水管理について学びたい方

### 【エドゥケーターの資格が得られます】

本講座受講後、エドゥケーター(一般指導者)の資格が得られます。エドゥケーター取得後、一定の経験を積み、ステップアップするとファシリテーター(上級・普及指導者)として一般指導者の資格を持ち、さらに他の一般指導者を養成することができます。 ※受講者が17歳の方は、現時点で受講可能ですが、18歳になった時点で資格が適応可能となります。

### 【留意点】

- ※講座開催中に遅刻、中座、早退をされた場合はエドゥケーター資格の授与はできませんのでくれぐれもご注意ください。
- ※講習中は携帯電話での通話等はできません。

### 【プログラム】

- 9:00~12:15/アクティビティ体験、説明など
- 12:15~13:00/昼食(お弁当を準備しています)
- 13:00~15:00/準備、実習
- 15:00~16:30/振り返り・共有、クロージング

ECO-YOUTH  
TH-YATSUSHIRO  
SHIRO

## プロジェクトWET エドゥケーター養成講座

8月9日 sat. / 桜十字ホールやつしろ

「驚異の旅」という講座では、小学校で見学して感じたと思うが、先日の水処理センター、排水機場、不法投棄見学で感じてたであろう、すべてに「水」が関連しているということ学べた。

また、流域探では、令和2年の豪雨災害で起きたことを思い出し、あときはあまりにも球磨川の水量が多く、支川からの水が逆流するバックウォーターという現象がおきて氾濫となったことを教わった。

さらに、食材を輸入している現状、タンカー船で2か月かけてくる卵もある。八代は、自給率は高いが海外から求めている材料も多い。燃料を頼っている。海外で輸入するということは、パナマチャルウォーターも輸入している状況となる。

「ハンプティ・ダンブティ」を学んだ中で、自然を破壊すると元には戻れないが、自然環境と防災、インフラ設備は共有して考えないと命は守れないことを学べたと思う。

以上、各アクティビティ体験を通して、それぞれつながっていることを感じた。

エドゥケーターとして参加して、知りえたことを言葉や体現することの楽しさを感じた。緊張はしたものの、伝えたいことを伝えることができ、また、準備の段階で頑張ることができたことも自分の成長を感じた。まずは、前に立つ人物が楽しいと思いつながりながら展開していくことも大切なのではと思った。そして、準備の大切さと、他アクティビティ体験のことをもっと学んでおくべきだったと思った。

実習の時間は、教えることも大事だがそれぞれに考えてもらうことも大切だと思った。あるだけの材料でどのように説明できるかをみんなで考え話し合う経験が、今後社会人としても大切になっていくことを伝えられてよかった。



# 令和2年7月 球磨川水害地 水防災 歴史見学会

球磨川水害地 水防災歴史見学会は、球磨川の  
水害や水防災に関する歴史と現状、さらには  
流域治水についても学ぶ機会を提供する  
イベントです。この見学会では、球磨川周辺  
の地域住民や関心を持つ方々に、水害の発  
生原因や対策、復興の歴史、さらには流域治  
水の重要性について知っていただき、今後の  
水防災についての意識向上を図ることを目  
的としています。



バスで球磨川沿いのポイントを巡ります。

〔コース予定〕  
10:00  
桜十字ホールやつしろ発  
↓  
坂本駅界隈  
↓  
12:30~14:00  
人吉カルチャーパレス  
(昼食・休憩)  
平井 信行 講演会  
↓  
渡地区  
↓  
柳瀬遊水地見学  
↓  
青井阿蘇神社  
↓  
18:00  
桜十字ホール着  
(歩く場所もあるので、動きやすい服装と、飲料水、帽子などの熱中対策もお願いします。)

日時： **9月20日(土)** 10:00~18:00  
集合：桜十字ホールやつしろ 八代市新町5-20 TEL0965-53-0033  
▶マイクロバスで令和2年7月の豪雨被災地などを視察します

解説 国土交通省八代河川国道事務所の方々  
参加費 1,500円(昼食・保険代)  
定員 40名限定



申込み・問合せ/次世代のためにがんばろ会事務局(担当:松浦)  
E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081  
共催/国土交通省八代河川国道事務所  
次世代のためにがんばろ会 <https://www.ganbarokai.net/>  
後援/八代市、八代市教育委員会



## 平井信行氏 講演会・水防災歴史見学会 9月20日 sat. /人吉カルチャーパレス、渡地区、柳瀬遊水池、青井阿蘇神社

「今回の講演をきいて実際に平井さんの進路選択のお話や気候変動の原因から対策までたくさんお話もきけてとても勉強になりました。特に気候変動の対策については警報の種類や「キキクル」などこれからの生活にも活かしていこうと思います。また今日の学びを家族や友達に話してみようと思います。」

平井さんから、気象、自然、災害についてのお話を聞いて、今までには、気象災害の原因に地球温暖化が深くかかわっていると聞いていたけど、自然の変動が主な原因だと知りおどろきました。また、今回初めて「キキクル」というものを知り、色によってその地域の危険性がすぐに分かるので、これから災害が起こった時は、「キキクル」を活用して、自分と家族の命を守っていききたいと思います!

私自身も8月に大雨で自宅の庭が水でつかってしまい、自然災害はほんとうにいつ来てもおかしくないのだということを実感しました。今回の水防災歴史見学会で実際に被害の大きかった人吉に行って、自分では想像もつかないような恐ろしいことがあったんだなと思いました。また、平井さんの講演から気候変動により自然災害が増えているということを知って、しっかりと対策をするべきだということも分かりました。今回学んだことを今後の学習や生活に役立てていきたいです。

今日、実際、青井阿蘇神社に行って、令和2年の豪雨災害がどれだけ恐ろしいものだったかを改めて感じました。あの豪雨災害の時、水は、私たちの身長約4倍ほどの所まで上昇していたのを見て、人吉の方々はとても怖かったらうなと思いました。今日、平井さんから聞いた「キキクル」の話や、災害時の対策、行動などを忘れずに、次にまた災害が起こった時は、学んだことを活かして命を最優先に守って行動しようと思います!



# 八代日本遺産

水の歴史石工たちの功績



## 八代を創造(たがや)した石工たちの軌跡を巡る!!

八代市には、「石工の郷」と呼ばれるほど素晴らしい石工技術があります。ここでは、干拓樋門や美しいアーチ型の橋、棚田の石垣など、東陽町の種山石工集団による技術が今も息づいています。昔の人々は、広大な八代平野を作るために球磨川を使って大きな石を運び、石工たちの技術で干拓樋門などを作りました。その結果、現在私たちが住んでいる八代平野ができたのです。そこで、実際に現地に行って、石工たちの技術や球磨川の水の力、そして石工集団への感謝の気持ちを感じ、八代の地域性を高めることを目的とします。



日時: **10月26日** 日 9:00~16:00

集合: **桜十字ホールやつしろ**

八代市新町5-20 TEL0965-53-0033

※小雨決行 大雨延期の場合はHPでお知らせします

【コース(予定)】

さくら十字ホールやつしろ ▶ 東陽町:石匠館 ▶ 氷川町石橋群(笠松橋) ▶ 「八代海干拓遺跡」①「高島新地旧堤防跡」 ▶ ②大鞘川樋門群 ▶ ③郡築樋門群 ▶ 八代城(昼食) ▶ 石ハネ ▶ 遥拝堰(右岸より見学) ▶ 湾洞 ▶ さくら十字ホールやつしろ

【講師】松永 昭吾 氏 (土木技術者、研究者、株式会社インフラ・ラボ 代表取締役)



ECO Youth  
Yatsushiro  
エコユースやつしろ



主催/次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>  
後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会  
申込み・問合せ/次世代のためにがんばる会事務局(担当:松浦)

E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081

ECO Youth Yatsushiroの活動は、河川基金、地球環境基金、エコユース基金の助成を受けて実施されます



河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています。



ECO-YOUTH  
TH-YATSUSHIRO  
SUPPORT

## 八代日本遺産見学会

10月26日 sat. / 桜十字ホールやつしろ ▶ 東陽町:石匠館 ▶ 氷川町石橋群(笠松橋)

▶ 「八代海干拓遺跡」①「高島新地旧堤防跡」 ▶ ②大鞘川樋門群 ▶ ③郡築樋門群

▶ 八代城(昼食) ▶ 石ハネ ▶ 遥拝堰(右岸より見学) ▶ 湾洞 ▶ 桜十字ホールやつしろ

<目的>

八代には、「石工の郷」(いしくのさと)と呼ばれる石工技術が伝わる地域があります。さらに種山石工集団が築いた干拓樋門や石橋などが八代市内にあることをご存知でしたか?

今回は石工技術が施された石橋や樋門などの魅力、それを作るまでの歴史について、みなさんに伝えていこうと思います。

まず最初に私たちは、東陽石匠館に行って石橋の歴史や作られるまでの過程を学びました。九州には約20,000個近くの石橋があり全国のおよそ9割を占めています。そのうち熊本県には、アーチ式の石橋が340個ほどあります。このアーチ式の石橋の数は、九州内の約半分の割合を占めています。石橋の主な石材として、阿蘇山の溶結凝灰岩が使われていました。その他にも東陽石匠館では全国にある石橋の写真が展示されていたり、実際に石橋に使う石をロープで引っ張って、石工の方々がどれだけ重い石を運んでいたかを体験することができます。石を引っ張った時、自分が想像していたよりもはるかに重かったので、昔はこの重さの石をたくさん運んでいたんだなと思うと、とても大変な作業だと感じました。

次は、東陽町にある笠松橋(かさまつばし)を見に行きました。笠松橋は大きなアーチ型の形をしていてとても迫力がありました! またこの橋は、明治時代に橋本勘五郎という石工が架けた代表的な石橋でもあり、アニメ「夏目友人帳」の聖地としても知られている人気スポットです!

そして次に、日本遺産である樋門を見てきました。樋門とは、雨水や汚水等の排水、用水の取り入れのために、堤防を横断して設けられる水路のことです。堤防の中にトンネルのような水路を通し、そこにゲートがついています。私たちが実際に訪れたのは、鏡町と千丁町の境にある大鞘樋門群(おざやひもぐん)という樋門です。この大鞘樋門群は、県内で最も古い樋門です。日本の歴史を感じる建造物として、八代海干拓遺跡に指定されています。私は初めて樋門を見て、川の流れが強くても樋門が崩れないように、頑丈に作られているということに驚きました。また、この樋門があることで、八代の農業や産業が支えられているんだなと感じました! これからは、より樋門へ感謝の気持ちを持って過ごしていきたいと思いました。





今回のヒアリング調査で私たちは干潟から多くの恩恵を受けていることを知りました。地球温暖化によって、現在、干潟が減少しているとのことですが、私たちが環境を守っていかねばならないということを強く意識させられました。環境省の方から頂いた今後の活動の仕方や図鑑作りについてのアドバイスを参考に、頑張っていきたいと思いました。

自国のごみ他国の海岸へと流れ着くことがあるということを知りました。3Rを意識して、ごみの分別をきちんとすることや、できるだけごみを出さないように心がけ、環境に優しい生活をしていきたいと思えます。他の団体の活動も参考にしていきたいです。

普段の生活の中で、水をきれいに保つためにできることを意識しながら、水を大切に使用していきたいと思いました。エコユースの一員として、様々な活動に参加するときに、水を取り巻く環境の大切さを発信していきたいです。(野元 優奏)

気候変動と干潟の関係については、海面上昇により真っ先に失われるものが干潟の生態系であることを知りました。そうならないためには、原因を減らす「緩和」と被害の軽減「適応」が必要だと学びました。マイクロプラスチックは今の技術では拾うことが難しいことを知りました。また、漂着ゴミは日本からも流れていること、海流に乗っていることを再確認することが出来ました。水質や環境の保全だけでなく、それを活用していくことが重要である事を知りました。(森下 夢弓)

改めて八代の干潟の価値を感じることができました。もっと周りの人に干潟の価値を表現していこうと思いました。

漂着ごみは国内から国内に来るものが多いのだとわかりました。また、ごみの排出量を見える化することで意識を改善することができるのかなと思いました。公共の団体でも名水づくりなどその地域の水のいいところを発信しているので私たちもインターネットを活用して干潟や球磨川のことなどを発信していきたいなと思いました。(永水 咲名)



はじめに(球磨川流域について)国土交通省八代河川事務所国道事務所から

球磨川流域とは、雨が降った際にその水が最終的に球磨川へ流れ込む地域全体のことを指す。流域は川の「幅」ではなく、球磨川に流れ込む多くの支流を含んだ広い面積を意味している。と説明をうけた。

#### ① 生活排水や工場排水は、球磨川の水質に影響を及ぼしているのか？

生活排水だけでなく、用排水路の水が直接河川に流れ込むことにより、水質に悪影響を与えている。また、不法投棄も問題となっており、球磨川では国が管理する範囲だけでも、処理費用が1件あたり500万円から1,000万円かかる場合がある。さらに、県が管理する二級河川や、市が管理する用排水路でも、それぞれ処理費用が発生している。水質の評価には、BODやCODといった環境基準が用いられており、上流部と下流部、また都市部と山間部では基準値が異なっている。

#### ② 水質を良くするために、私たちの生活の中で改善できること

球磨川の水質には、家庭からの生活排水だけでなく、流域に立地する企業からの工場排水も影響している。工場排水については、各企業が排水基準を守り、川に流す前に処理を行っているが、国が定めた基準値ぎりぎりでも管理されている場合もある。企業が地域の雇用や経済を支えている「企業城下町」では、住民が企業に対して厳しい意見を言いにくい状況が生まれることもあり、その例として水俣病が挙げられる。また、生活排水についても、家庭から出る排水をできるだけきれいな状態で流すことが重要である。化学製品の使用を控えることも大切であり、長年の化学物質使用が環境ホルモン問題やがん患者増加につながっていると指摘する研究もある。環境問題を考える上で、『奪われし未来』という書籍も参考になる。

#### ③ 災害廃棄物による水質汚染は起こっているのか

災害時には、工場から流出した灯油缶やガソリンなどの災害ごみが河川に流れ込み、水質に影響を及ぼす可能性がある。これらを放置すると、内容物が漏れ出し、水質汚染につながる。

## 海辺の自然再生・高校生サミット

11月1日sat.～3日mon./神奈川県横須賀

私達は11月1日から3日の間、横須賀で開催された海辺の自然再生・高校生サミットに参加してきました。

このサミットでは、全国で海辺の自然再生活動に取り組んでいる高校生が日頃の活動や研究成果を発表し、意見交換を行いました。また、漁業者の方の講演会やワークショップを通して、海の生態系の実態や私達にできる行動について考えました。

●1日目は他校の高校生の発表を聞きました。アマモを食害から防ぐために、どのような対策を取ることが適切なかを網の大きさを変えてみたり、牡蠣殻を使ったり、種子団子をつくってみるなど、自分たちが研究を行っている海の特性に合わせて様々な案を講じながら海の自然を守るための研究をされていました。また、カードゲームの作成や絵本、干潟のプラスチックごみを利用したカプセルトイの製作など、様々な発表でとても学びになりました。

●2日目はまず、普段実際に現場で漁業に携わっている組合の方からのお話を伺いました。そこでは海の環境が昔と比べて大きく変わっているということ、漁業に携わっ

ている方の多くが高齢で、これからの海や漁業の将来について関心を持つ方が少ない、ということを知りました。ですが海を守り続けたいという漁師さんたちの強い思いを感じました。そして、私達、エコユースやつしろの活動発表・ポスターセッションを行いました。毎月開催している「いきものがたり」でのいきもの調査についてや、エコユースやつしろが企画・運営を行っているいきもの潟りフェスタ、地域の魅力を発信する取り組み等を発表しました。午後からは高校生同士でテーマに対して意見交換を行う円卓会議を行いました。私達は「他の学校との情報交流」というテーマについて話し合いを行いました。

●3日目は横須賀にある国土交通省が管理している研究所を訪ね、実際にアマモや干潟について研究をされている内容についてお伺いしました。実際の海水を使った再生干潟を屋内で大きな水槽の中で実験されているところがとても印象的でした。また、榎太一さんが番組で種子団子を海に入れる活動をされるため、種子団子を作るお手伝いも行いました。

私たちは、この3日間を通して、本当に様々な経験ができたなと思いました。自分たちと同じ年代の人たちが、それぞれの学校でたくさんの取り組みを行っていることを知り、いろいろな地域の人達と出会えたことはとても刺激になりました。この経験を無駄にすることがないように、エコユースの活動をこれからももっと頑張って、地域に還元していきたいと思えます。

徳田 幸佳、森 佳織



## 和白ガタレンジャー交流いきもの調査と全国ごみ調査

9月23日 tue./生き物潟り

〈和白干潟・ガタレンジャーメンバーの感想〉

八代での干潟で生き物かんさつをして楽しかったです。やはり福岡の和白干潟と違うところがいくつもありました。自分が思った例ををあげるとマメコブシがいっぱいいました。マメコブシを10びきぐらいみつけました。そしてハクセンシオマネキがいっぱいいました。とても信じられなかったです。

たのしかったです。和白干潟は砂っぼいところが多いけど、「生き物潟り」ではけっこういぼる(泥っぼくて足が埋もれる)ところが多いのでびっくりしました。環境が混在しておもしろかったし、日頃はみられない生き物も見れてよかったです。きちょうなたいけんができてとてもよかったです。またいきたいと思いました。



## 神奈川県立海洋科学高校との交流いきもの調査

12月14日sat./生き物潟り

神奈川県立海洋科学高等学校の学生たちが、神奈川から〈生き物潟りのいきもの調査〉に参加してくれました。11月の「海辺の自然再生・高校生サミット」で出会い、八代の干潟を見たいと来てくれた行動力に感動しました。エコユースやつしろとの交流が出来たことにも感謝しています。

広大な干潟や多くの生き物に驚き、喜んでくれました。残念ながらクロツラヘラサギは見せられませんでした。今回のサミットでの再会を楽しみにしています。これからも他地域の学生同士が交流できる機会を通して、地球環境を考えていく輪が繋がって広がっていくことを期待しています。



# 八代の高校生集まれ!

## 新市長と八代の未来を語ろう!!

高校生のみなさんと  
八代の未来を  
語り合しましょう!!



小野 泰輔 八代市長

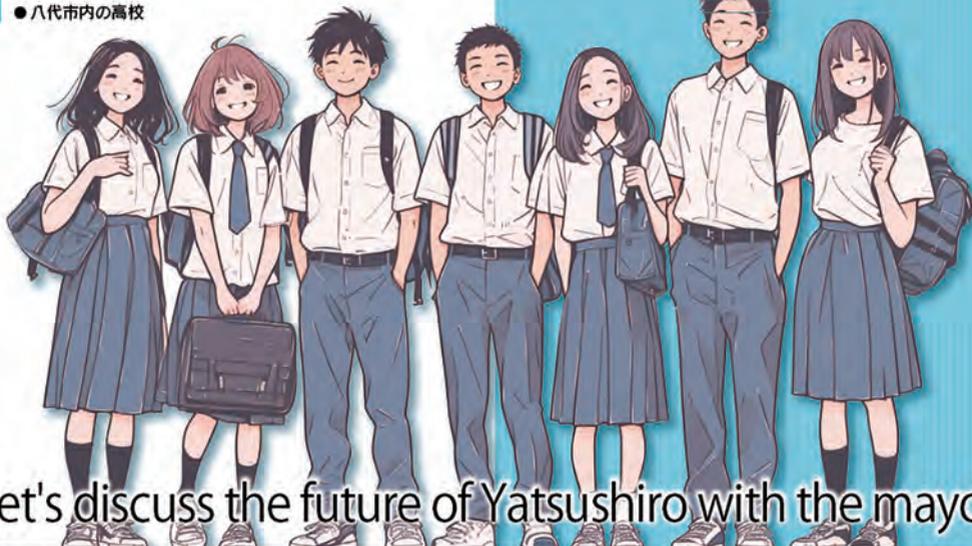


主催/次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>  
後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、  
ひのくにベントス研究所、NPO法人 海辺つくり研究会

### 申込み・問合せ

次世代のためにがんばる会事務局(担当:松浦)  
E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081

ECO Youth Yatsushiroの活動は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます  
河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています  
地球環境基金  
New Fund for Global Environment



Let's discuss the future of Yatsushiro with the mayor.

ECO-YOUTH  
THAT  
YATSUBO  
SHIRO

## 新市長と八代の未来を語ろう会・ポスターセッション

12月27日 sat. /イオン八代店

市長との意見交換会では八代の今について知ったり、観光や農林水産業、政治の話もあってとても勉強になりました。なかなか聞くことのない政治の話聞くことができとても良かったと思っています。どの質問も丁寧に答えてくださって詳しい説明があってわかりやすかったし、私もその課題について解決策を考えるきっかけとなりました。

市長や市に任せきりになるのではなく、自分たちが身の回りにある課題を見つけて考えて、率先して行動していくことが大切だとわかりました。これから八代をもっと好きになれるようにまたもっとより良くできるように、自分から情報を入手したり失敗を怖がらずに挑戦したりしていきたいです。

市長と直接話すという貴重な体験ができてとても有難かったです! 市長と話して大人に頼るだけでなく、自分たちでも動いて欲しいという考えが市長にあると知り、要望だけでなく提案もしてみようと思いました。また人前にたって発表するというにもだいぶ慣れて来て楽しいなと思いました!

今回、市長との交流会をした中で私が感じたことは自分が想像していた市長の姿と交流会を通して改めて知った市長の凄さです。自分は今まで、市長は市で一番偉い人程度の認識でしたが、実際市長の政策や公約を調べて実際今回の交流会で自分の質問をはじめ、参加者皆さんの質問を真摯にかつ難しい質問でも可能性を捨てずに真っ直ぐ向き合う姿はとてもかっこよく思いました!

これから市長と関わるイベントがあったら積極的に参加したいです! 八代の明るい未来のため地域活動にも積極的に参加していこうと思いました。



## 講演会「生きもの溷りの生きものたち」

2月22日 sun./生き物溷り・麦島コミュニティセンター

### 〈森 敬介 先生 講演会〉

- ・森先生のお話の中に、「自然がいつの間にか無くなるとうする」「いかに少しでもありのままの自然を残すか」という活動をされているお話がありました。様々な地域で、いち早く変化に気づき、相談し、様々な対応を考えて自然を守っていかれている森先生を改めて尊敬する機会となりました。自然を壊すことは簡単ですが、これからの時代は、自然を活かしながら創造していく視点が大切になります。その創造に近いのが、創生湿地の生き物溷りです。たくさんの生き物たちが棲みはじめているこの干潟を八代の宝として守っていききたい、そして、次世代に繋げていききたいと思いました。
  - ・森先生が生き物の環境保護のために様々な活動をされているということや、第二高校の活動成果を拝見させていただき、ユースのメンバーとして強い刺激になりました。これからは、干潟の生き物図鑑完成を目指すと共に、生き物の環境保全にはよりいっそう深く注意を払っていききたいと思います。
  - ・今回の勉強会で、日本の干潟のことや、八代干潟が全国でも干潮時間が特に長いこと、そしてそのおかげで毎月安定して調査が続けられていることを学びました。改めて八代干潟の特徴を知り、自然の恵みに感謝する気持ちが強くなりました。これからは調査をしながら写真を残し、みんなで図鑑を作る計画もあります。完成が今からとても楽しみです。
- これからも調査と定期的な勉強会を続け、八代干潟の生き物たちを守りながら、やりがいを感じ、楽しみながら活動していききたいと思います。

### 〈年間いきもの調査／2月の調査を終えての感想〉

- ・いきもの調査が二年目を終えようとしています。基本的なこととして、潮見表を見ること、道具の準備、天候により実施できるかの検討、調査の案内と参加者の把握、市民調査と干潟の説明、採集結果を先生に報告する、の一連の流れにやっと活慣れてきました。二年目は、少しですがいきものたちを見分けられるようになりました。2月の調査では、オカミミガイの赤ちゃんを見せてもらい、感激しました。生物の営みが安心して行われる環境になっているんだと感じました。いきもの調査を通して学んだことは、「いきものは当たり前にはいるのではない」ことです。生きていける環境があるからこそ生きている。それは人も同じです。今生きている環境に感謝しながら、これからも楽しく干潟について学んでいききたいと思います。



ECO Youth  
Yatsushiro

エコユースやつしろ

Let's connect  
Yatsushiro  
with the World!

「生き物溷り」の  
生きもの調査と  
すぐろくWS

3/15 sun.

12:30~16:30 〈参加無料〉

場所：球磨川河口「生き物溷り」

■生きもの調査

〈講師〉 森 敬介 先生  
(ひのくにベントス研究所所長)

▼生きもの調査終了後

会場：麦島コミュニティセンター

■講演会

「生き物溷り」に棲むベントス  
〈講演〉 森 敬介 先生

■すぐろく体験ワークショップ

〈講師〉 出水 享 氏  
(長崎大学工学博士)

■エコユースやつしろ

まとめの会(高校3年卒業お祝い会)

- ・卒業生の発表
- ・ぜんざいなど軽食提供



主催/次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>  
後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会  
ひのくにベントス研究所、NPO法人 海辺つくり研究会  
申込み・問合せ/次世代のためにがんばる会事務局(担当:松浦)  
E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ECO Youth Yatsushiroの活動は、  
河川基金、地球環境基金の助成を  
受けて実施されます



河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています。

地球環境基金  
Japan Fund for Global Environment



# みんな応募してね!!

[テーマ]  
ごみのない  
美しい  
球磨川

募集  
区分

- ・小学生低学年の部(1年~3年生)
- ・小学生高学年の部(4年~6年生)
- ・中学生・高校生の部
- ★応募者全員に参加賞を進呈。金賞・銀賞には副賞もあります!!

応募  
要領

- ・画用紙B4サイズ(257×364mm)
- ・画材は自由、デジタル画も可。作品は1人1点以内とします。
- ・ポスターにはテーマに沿った言葉をご記入ください。
- ・このチラシの裏面に必要事項を記入の上、作成下ポスターの裏に貼り付けて送ってください。
- ・ご記入頂いた個人情報は、応募作品の審査に関する確認、審査結果連絡目的以外には使用いたしません。

注意  
事項

- ・作品は未発表のものとする。特定の商品などをイメージさせるものは避けてください。
- ・応募作品の使用、著作権は主催者に帰属します。
- ・応募作品は返却しません。

[応募締切]

令和7年/2025年

9月17日

当日消印有効

▼問い合わせ・送付先(持参、または郵送で)  
〒866-0831 八代市荻原町1丁目708-2  
「ごみゼロポスター事務局」  
(国土交通省八代河川国道事務所 河川管理課内)宛  
TEL 0965-32-8120 (受付時間:平日8:30~17:00)

私たちの球磨川には、ペットボトルや缶のポイ捨てや、大きな家電製品、自転車など不法に捨てられたごみがたくさんあります。「くま川ごみゼロポスターコンクール」では、ごみのない美しい球磨川を取り戻すために、流域の小学校、中学校、高等学校などの児童・生徒のみなさんの「ごみを捨てない気持ち」や、「美しい球磨川」への願いを込めた元気なポスターをたくさん募集しています。



2024年 第10回くま川ごみゼロポスターコンクール



共催 次世代のためにがんばろう会 <http://ganbarokai.net/>

国土交通省九州地方整備局 八代河川国道事務所、熊本港湾・空港整備事務所

後援 球磨川水質汚濁対策連絡協議会(川辺川ダム砂防事務所、熊本県、八代市、人吉市、芦北町、錦町、あさぎり町、湯前町、太良木町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、上天草・宇城水道企業団、八代警察署、人吉警察署、多良木警察署、芦北警察署、八代広域行政事務組合消防本部、水俣芦北広域行政事務組合消防本部、人吉下球磨消防組合消防本部、上球磨消防組合消防本部、氷川町



次世代のためにがんばろう会

# 第11回 くま川ごみゼロ ポスターコンクール



## くま川ごみゼロポスターコンクール

11月15日 sat./桜十字ホールやつしろ

### 【目的】

環境問題や「エコ」という言葉が広く社会に浸透してきた今日、ごみ問題や資源の再利用などに対する意識も徐々に高まっています。しかし依然としてごみのポイ捨てや不法投棄、資源のムダ遣いなどの問題は後を絶ちません。

球磨川流域でもゴミの不法投棄が多く、毎年大雨の後には大量のゴミが下流域や八代海へと流れ着いています。これらのゴミは水環境を悪化させるだけでなく、球磨川の景観や印象も著しく損ねています。

そこで、ごみのポイ捨てや不法投棄を無くし、美しい球磨川の自然環境を守るため、啓発活動の一環として流域の小学校、中学校、高等学校等に在学する児童・生徒のみなさんを対象に『第11回くま川ごみゼロポスターコンクール』を実施します。

### 【応募規定】

- ① 応募内容
  - ・テーマ「ごみのない美しい球磨川」について
  - ・応募作品  
テーマに沿ったポスター画を募集します。  
ポスターにはテーマを連想させる標語を入れてください。
- ② 応募資格
  - ・球磨川流域内の小学校・中学校・高等学校等に在籍する児童及び生徒
- ③ 応募作品のサイズ等
  - ・画用紙(B4サイズ)とする。
  - ・画材は自由(水彩・クレヨン等 ※デジタル画も可)
- ④ 応募区分
  - ・小学生低学年の部(1~3年生)
  - ・小学生高学年の部(4~6年生)
  - ・中学生・高校生の部



エコユースやつしろメンバー  
岡村 青泉さん  
初めての受賞!!

## エフエムやつしろ出演

KappaFM/エフエムやつしろ



エコユース以外の方の前で発表するのは初めてで緊張したけど、いい経験ができました。これを通してエコユースの活動を知って貰えたらいいなって思います！

[ゆみ]

緊張したけどしっかり話すことができとても貴重な体験をすることができました。エコユースの取り組みが八代市の高校生にたくさん広まるといいなと思いました。

[あやか]

初めてエコユースの活動を発表して、あまりしないから緊張しました。貴重な体験になりいい経験になりました。もっとたくさんの人に知ってもらって参加してもらいたいと思いました。

### ▼エフエムやつしろのタウン情報紙 かじゅめる秋号で紹介されました!!

エフエムやつしろに出演することで、活動のふり返りを感じ、情報発信できます。



## 次世代のためにがんばる会/子どもエコクラブ

私たちは2024年からエコユースやつしろの皆さんとボランティア活動に参加しています。八代の干潟にはたくさんの生き物がいることを知り、うれしかった一方で、ゴミの多さにもおどろきました。活動では、創生湿地「生き物潟り」での生き物調査や野鳥観察、不法投棄現場の視察、水質検査を行っています。生き物調査は月に1回行い、作られた干潟にどんな生き物がすむようになったのかを調べています。2024年からの調査で40種類以上を発見しました。ハクセンシオマネキやオカミミガイ、カワアイ、エビ、トビハゼなどが見られ、生物多様性のある干潟になってきています。

八代市の水無川の検査をしました。川の下流と中流と上流の順番に検査をしました。下流は魚が死んでいたり臭ったりとても残念でした。中流はエビや魚がいて意外ときれいでした。上流はカワニナという貝がいて、泳いであそぶこともできてとても楽しかったです。

〈検査結果〉⇒八代市内/下流COD6、中流COD4、上流COD4以下  
(太田郷小6年 堀田 涼介)

僕たちは八代野鳥愛好会の探鳥会に参加し、望遠鏡で八代にやってくる鳥を観察しています。八代の干潟にはクロツラヘラサギが飛来します。黒い顔とヘラのようにくちばしが特徴の準絶滅危惧種で、見られたらとてもラッキーです。

(太田郷小6年 山崎 耀大)

〈不法投棄現場を視察しました〉

八代市平和町と日奈久栄町の護岸を見に行きました。カップラーメンの食べ残しなど多くのゴミが捨てられていて、とても驚きました。どうして捨てるのか不思議に思い、将来も絶対に海や川にゴミを捨てないと強く思いました。

(八代第二中学校2年 山崎 健真)



### 生き物潟り壁新聞

全国こどもエコクラブ壁新聞コンクールで熊本県代表になりました



## 高校授業、幼稚園保育園小学校での授業

幼稚園、保育園から高校まで多彩な環境講座講座を行なっています。



### 令和8年度 環境学習講師派遣メニュー

八代市では、市内の小中学校・幼稚園・保育園等を対象に、以下のメニューで環境学習を実施しています。  
講師派遣をご希望の場合は、別紙「環境学習講師派遣申請書」に必要事項を記入して、講座等実施予定日の1カ月前までに、循環社会推進課までお申し込みください（FAX、メール可）。  
※複数のメニューを組み合わせた受講も可能です。詳しくはお問合せください。

<p>①「ごみ問題」とごみ分別ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で発生する「ごみ」の問題を題材にしたメニューです。</li> <li>ごみの種類や処理、分別方法を学び、サンプルを使って実際に分別を行うゲームをします。</li> </ul> <p>◆所要時間：約40分 ◆講師：次世代のためにがんばろう会</p>	
<p>②クイズで学ぶ「食品ロス問題」と八代市の食品ロス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイントを使用したクイズ形式のメニューです。</li> <li>食品ロスの問題や、八代市の現状を学び、その解決のために何ができるかを考えます。</li> </ul> <p>◆所要時間：約40分 ◆講師：次世代のためにがんばろう会</p>	
<p>③「ごみ問題」の紙芝居</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙芝居を使って、未就学児にも理解しやすいように、ごみに関する問題について学びます。ごみ分別ゲームを組み合わせたことも可能です。</li> </ul> <p>◆対象年齢：未就学児～小学校低学年 ◆所要時間：約30分 ◆講師：次世代のためにがんばろう会</p>	
<p>④エコカルタで学ぶ「八代市の環境問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>八代市民を対象とした公募により作成したエコカルタを使って、ゴミ問題を学びます。八代市の環境問題や地球温暖化について学びます。</li> </ul> <p>◆所要時間：簡単なバージョン（低学年用）約40分 説明付きバージョン（高学年用）約60分 ◆講師：次世代のためにがんばろう会</p>	
<p>⑤身近にある「マイクロプラスチック問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイントやDVD画像を使用し、実際にマイクロプラスチックの調査を学べる形式のメニューです。資源物であるプラスチックが、川や海に捨てられるとどのような問題を招くのかを学びます。</li> <li>ごみ分別ゲームを組み合わせて、改善案を学びます。</li> </ul> <p>◆対象年齢：小学校高学年 ◆所要時間：約40分 ◆講師：次世代のためにがんばろう会</p>	<p>出典：環境省</p>

【問合せ・申込先】八代市 市民環境部 循環社会推進課  
八代市環町299 エコエイトやっしろ（八代市環境センター）内  
TEL：34-1997 FAX：35-3902 Mail：junkan@city.yatsushiro.lg.jp

## くま川子どもごみパトロール隊

9月26日fri./水処理センター、大碓排水機場、球磨川河川敷

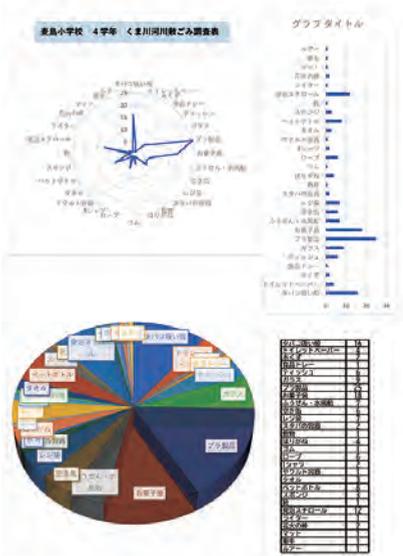
この事業は、2クラス計77名の児童が一斉に行動する形で実施した。各見学箇所における説明対応については、多くの関係者の協力を得て進めた結果、混乱や事故等もなく、全行程を安全に実施することができた。

この企画は、日常生活の中で無意識に捨てられたごみが河川を通じて海へ流出していく過程を、児童が五感を用いて体験的に学ぶことにより、不法投棄問題への意識啓発を図ることを目的として実施した。現地での解説やパネルを用いた説明を行い、理解の深化を図った。

事業終了後に実施した児童アンケートでは、「ポイ捨てや不法投棄をなくすために、大人にも伝えたい」といった趣旨の回答が多く見られ、児童自らが啓発の担い手となる可能性がうかがえた。以上の結果から、本企画は当初の目的に沿った成果を上げたものと評価できる。

本事業終了後、参加した教諭からは、社会科で学習している内容と関連しており、子どもたちにとって非常に充実した学習になったとの評価が寄せられた。一方で、見学内容が多かったため、もう少し時間をかけてゆっくり見学できれば、理解がさらに深まったのではないかという意見もあった。

特に、八代市内に所在する排水機場については、場所や業務内容を初めて知ることができ、ごみ問題を体験的に学べた点が非常に有意義であったと高く評価された。



## エコユースやつしろ 高校3年生 応援メッセージ



岩本 唯花

エコユースやつしろの活動に参加し、さまざまな場面で活動したり学びを深めたりしていることを、改めて実感することができました。これからは、エコユースでの活動を通して身につけた考え方や知識、コミュニケーション力を積極的に活かしていきたいです。また、「市長と語る会」の企画では、市長とメンバーのやり取りを聞き、私たちはまだ学生ですが、それでもさまざまな行動を起こすことができるのだと感じました。これからは普段から多くのことに興味を持ち、今以上に知識を身につけ、将来は地域に貢献できる人材になりたいと思います。



田中 姫花理と猪塚 日和

エコユースやつしろでの経験を通して、地元の理解を深めるとともに自然や生き物について知ることができました。実際に現地に行って学んだり、外に出て自然や生き物と触れ合うことはなかなか経験することのできない貴重な時間でした。また、様々な人と出会うことで自己成長に繋がることができました。(田中 姫花理)

高校2年生からエコユース八代の一員として、干潟の調査や座学、ヒアリング、他団体と協力して行った活動などここでしか経験できないであろうたくさんの経験をさせていただきました。活動に参加するたび自分が住んでいる八代なのに知らなかったことが多くあり、驚いていたことが印象に残っています。エコユース八代は松浦さんをはじめ、メンバーの皆さんの力でとても大きく素敵な団体になっていくと思います♪(猪塚 日和)



石田 麻未

エコユースやつしろでは、さまざまな取り組みを行うことができました。私が体験した中でも特に印象に残っているのは、水防歴史見学会です。令和2年7月豪雨の悲惨な状況を知るとともに、今自分たちにできることは何かと改めて考える良い機会になりました。また、他校の生徒との交流が盛んに行われており、ディスカッションやラジオなどを通して考える力や伝える力を学び、自身の成長につながる貴重な体験となりました。一度八代を離れての生活になりますが、エコユース八代で学んだことを忘れず、これからの生活の中で活かしていきたいと思っています。



日隈 志保 濱田 雅 平田 花澄 岡村 有莉

エコユースの活動を通じて、学校では得られない貴重な経験をさせていただきました! 八代の魅力を実際に解説付きのツアーで感じることができ、八代を誇りに思えるようになりましたし、水環境に関する様々な知識も身につきました。また、干潟のイベントを開催したり、異なるバックグラウンドを持つ方々と関わる機会もあり、自己成長にもつながっています。皆さんもぜひエコユースを通じて多様な体験をし、知見を深めてくださいね!(日隈 志保)

私はエコユースに入って、様々な人たちと関わることができました。特に、昨年神奈川県で行われた高校生サミットに参加した際には、大学の教授や、八代以外の地域の高校生、ボランティア活動を行う大学生など、大勢の人々と意見を交わすことができ、自分の視野を広げることができました。(濱田 雅)

私はエコユースやつしろに入って、八代の魅力をたくさん発掘することが出来ました。特に、生き物湯りのような人工の干潟が身近な場所にあり、そこで活動ができるのはエコユース以外で中々出来ることではないと思っています。そのような恵まれた環境で自然についての理解を深めることができたのは私の学生生活の中でも自分を成長させる大きなきっかけとなりました。(平田 花澄)

エコユースやつしろでは、球磨川沿いの清掃、干潟再生地での生物調査といった本当にたくさんの八代の環境保全に取り組んできました。その中で、地域課題の解決には行政や企業、市民が協働して取り組む必要があることを学びました。また、ラジオや「高校生サミット」で環境保全に関わる大人の方々や他県の学生に活動を伝えることの大切さも実感しました。今後社会で必要になる知識や力を身につけることができたと思います。(岡村 有莉)



永井 心頼

初めは正直受け身だったエコユースやつしろの活動ですが、生き物調査や干潟フェスタのリーダー経験を通じ、地元の魅力に気づくと同時に、将来は地域を盛り上げたいという目標ができました。一見、進路とは無関係に思える活動も、他校の高校生との議論など多角的な学びの機会に溢れています。自分の世界を広げ、成長できる場として、ぜひ皆さんの積極的な活動の参加をおすすめします。

## エコユースやつしろ 講師からの応援メッセージ



八代工業高等学校 教諭 中村 満

2年前の赴任後、探究活動をスタートさせて間もなく出会ったのが、本校生徒も活躍する「エコユースやつしろ」でした。「故郷・八代を知り、守り、次世代へ繋ぐ」というそのモットーは、地域環境保全に取り組む私たちの活動目的そのものであり、強い共感を覚えました。目の前の課題に主体的に立ち向かう高校生たちの行動力は、時に教師である私自身が背中を押されるほどのエネルギーに満ちています。これからも、この挑戦の輪がさらに広がり、八代の未来を担う若者たちの活動がより一層活性化していくことを心から願っています。皆様の真摯な取り組みを、微力ながら応援させていただきます。



国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 流域治水課長 一ノ瀬 誠

1年間のエコユースやつしろの活動、お疲れ様でした。球磨川の管理者として、皆さんと共に活動できたことをとても有難く思います。「生き物湯り」における生きもの調査、水防歴史見学会などを通じて、地元の豊かな自然、自然災害に対する備えの大切さを感じて頂けたと思います。体感することで皆さん一人一人が自分事として、しっかりと受け止めて学ぶ姿勢は、講師側にもより良い地域づくりに向けた想いを強くさせてもらいました。これからの未来をつくる皆さん、エコユースやつしろの活動を応援しています。



国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 河川管理課 河川維持係長 馬場 亮

1年間の活動おつかれさまでした。学業や部活動で多忙な高校生活の中「環境問題」という大きなテーマに真摯に向き合い行動し続けた貴方たちの姿に敬意を表します。活動中、思うような結果が出なかったり、周囲との意識の差に悩んだりしたこともあったかと思えます。しかし、この活動で得た経験や仲間と議論した時間は、教科書からは得られない一生モノの財産です。「違和感をスルーせず自分に出来ることを探す力」があればこの先の人生きっと役に立つはずです。今の自分に自信を持ってこれからも自分らしい歩みで未来を切り拓いていってください。



公益財団法人 河川財団 河川・水教育センター 上席研究員 菅原 一成

「河川財団では、国際水教育プログラム「プロジェクトWET」を通じて、水や河川と向き合う人を増やす取り組みを進めています。これまでエコユースやつしろの多くの皆さまに指導者講習会へご参加いただきました。その後、指導者となった高校生の皆さんが、このプログラムを活用し、地元小学校で河川や水に関する出前講座を行うなど、学びを実際のアクションへとつなげてくれたことを、大変嬉しく、心強く感じています。河川や水は、人々の暮らしと社会活動を支える大切な基盤です。こうした自然と社会との関係について学び、市内を流れる球磨川というフィールドで得た感覚や経験は、これから社会に飛び立つ皆さんにとって、必ず大きな力となり、困難を切りひらく原動力となるでしょう。これからも、社会のさまざまな課題に挑むリーダーとして、ますます活躍されることを願っています。



NPO法人 LIRA 理事 伊藤 教行

八代エコユースをはじめとする八代市の高校生諸君とお付き合いを初めて4年になります。八代市の高校生諸君の柔軟な発想や着眼点には、いつも驚かされます。私達にとっても新しい視点で活動をするための大変良いモチベーションとなっています。環境活動を共に行う事で、自然と人間との関わり方についての思いを馳せて頂けると幸いです。これからも宜しくお願い致します。



北海道滝川市産業振興部 農政課農村振興係 係長 倉嶋 真司

私は、プロジェクトWETエデュケーター講習会 in 熊本2025の活動でご一緒させていただきました。学業が忙しい中、八代市のため、自分自身の研鑽のため積極的に参加されていますこと、メンバー皆様の活動が地域にとって大きな励みや活性化に結びついていると思っています。一年間を通じて様々な活動を学業以外に学び、仲間とともに共に苦勞し、考え、緊張しながら発表することは、今は役に立たないと思っても、後々、その知識が社会に出たときに役立つ時が必ず来ます。その練習をしているのが、この活動ではないでしょうか。そして何より学ぶことに無駄なことはありません。また、何より一番大事なのは、仲間作りです。学校以外の社会活動で、人間性や協調性、積極性など、この活動で築かれた仲間との絆は、一生の友人となることでしょう。今後は、進学就職などで地元を離れる人、または地元で就職する人、地元に戻って来る人など、それぞれの道を歩むことになりますが、仲間や地元を敬い、支えてくれた親やスタッフに感謝を伝え、次の世代に学んだ事を伝えてください。



## 次世代のためにがんばる会【2025年度活動紹介】

発足日／平成13年（2001年）7月24日

発足活動内容（下記各活動を毎年開催）

### 【1】八代海・河川関係活動

青少年に八代海・球磨川河口の干潟の保全を意識づけるために、年間を通じ、様々な保全体験活動や学びの場を設定している。取り組みは、地域や教育現場、専門家、漁協組合などを巻き込んで実施している。

#### 第1弾企画 「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」開催 （令和7年度で21回目の開催）

令和元年度は、市内の7校の高校生をメインに、企業・一般市民も合わせ約700人の参加。実施前後のアンケート調査で現状と、理解・意識の変化を見ることで、行動改善を図る企画。

#### 第2弾企画 「こどもごみパトロール隊」開催 （令和7年度で20回・途中年2回開催も有）

小学校の授業時間を利用し、八代市内のゴミが流れ着く排水機場と水の浄化の現場を見学し、河川敷のごみの現状を調査、実際に拾い集めたごみを八代市のゴミ分別基準に沿って分別する体験も行い、ごみ問題を五感で感じる企画。平成20年より開始。

#### 第3弾企画 「河川・海岸の不法投棄写真撮影会」開催

これまで様々な賞を受賞している八代白百合学園高校写真部や崇城大学生・子どもエコクラブと共に河川・海岸の不法投棄の現状を撮影し、そうした状況を撮影したことで、感じたことを写真と合わせて伝えることで、地域住民への啓発・問題提起とする企画。

#### 第4弾企画 防災教育の推進

八代市立小学校を対象に、水防災について、体験型授業を開催。1年から6年生までの間に、基本柱を体験することで、災害に対する自助ができることを目指すもの。また、専門家を招聘して防災講演会を開催。

#### 第5弾企画 「生き物渦り」いきもの調査

毎月開催（HPで日時をご確認ください）

### 【2】青少年・子ども育成活動

受け身の学習だけではなく、身近な環境での清掃活動な体験学習の他、経験したことや考えたことをアウトプットする発表機会や教材作成など、青少年が主体的に取り組むことができる活動を継続実施している。

#### 第6弾企画 「子どもエコクラブ」の指導

毎年水質検査を行う。身近な河川の上・中・下流の違いを実際の河川に連れていき、調査（透視度・COD・水生生物）させ、同じ河川の違いを五感で感じる企画。



#### 第7弾企画 環境教材の作成・贈呈

親子図書館講座・ふるさとエコかるた・ふるさと子どもくらし図鑑・ふるさとエコかるた、希少生物かるた。また、毎年環境保全の小冊子などの教材作成・教育委員会に贈呈。児童向けの「親子干潟のいきもの学習会」や小学生や高校生の句を元として作成した、「ふるさとエコかるた」、地域の年功者にヒアリングを重ねて作成した「ふるさと子どもくらし図鑑」「球磨川河口に棲むいきもの冊子」など、青少年の学習の成果を教材に反映し、例年、市役所・教育関係各所に贈呈し、教材として活用されている。

第8弾企画 循環社会推進のための「出前授業」「食品ロス」講座（八代市と共催）  
ごみ減量に伴う八代市の資源物22分別の指導を市内の教育関係依頼で派遣授業を行っている。近年は海流による太平洋ごみベルト、マイクロプラスチック問題などもその授業のプログラムに入れている。

生ごみ処理から始まった活動は、現在公立保育園での食育活動に広がっている。生ごみ処理箱の提供は、八代市内以外、県外の利用者も増え、1年間平均生ごみ処理は約36トンにもなる。また、教育関連に「食品ロス」の出前授業も行っている。

#### 第9弾企画 2022年にスタートした「青少年水サミット」を発展的に拡大し、「九州高校生SDGsサミット」として新たに展開。

本サミットは、九州の高校生がSDGsをテーマに学び合い、語り合い、行動につなげる交流の場です。

2023年度は八代（熊本）、長崎、福岡で開催し、地域を越えた高校生同士のネットワークを広げてきました。

そして2025年度は、福岡・佐賀・長崎・熊本の4県から9校67名が参加する大規模な企画へと発展。

九州の未来を担う高校生たちが、持続可能な社会の実現に向けて主体的に挑戦しています。

#### 第10弾企画 郷土を誇れる人材教育「八代日本遺産見学会」と「水防災歴史見学会」の開催

広大な八代平野は、先人たちの干拓によって築かれた土地です。その造形を支えてきた樋門の存在や、良質な石灰岩という地域資源、そしてそれを巧みに扱った石工集団の技術を学ぶことで、郷土への理解と誇りを育むことができます。こうした思いから「八代日本遺産見学会」を開催しています。

また、水害の多い球磨川の歴史と水防災の取り組みについて、被災地で実際に見て、聴いて、学ぶ「水防災歴史研修」も実施。過去の災害から学び、未来に備える力を身につけることで、地域を守り支える人材の育成を目指しています。

以上、当会の名前のごとく、「次世代のために」という想いを持つ青少年を育て、彼らがまた「その次の世代」を引っ張っていくことのできるように育てたいと切に思います。そして、これからも「次世代のために」地域をつなげて頑張っていきたいと思っています。

▶次世代のためにがんばる会 詳細は会のHPをご覧ください  
<http://www.ganbarokai.net/>



次世代のためにがんばる会【受賞・表彰歴】

- ★コココーラ環境教育賞受賞(平成14年)
- ★肥後の水資源愛護賞(平成16年)
- ★肥後の水資源愛護賞 特別賞(平成18年)
- ★「リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞」(代表者)受賞(平成18年)
- ★くまもと環境賞(平成19年)
- ★環境大臣賞(環境賞主催):地域環境保全功労者賞(平成20年)
- ★「K A B水と森を守るためにボクらが今できること」優良賞受賞(平成21年)
- ★くまもとストップ温暖化大賞審査員特別賞 (平成23年10月)
- ★ECO JAPAN CUP「市民が創る環境のまち“元気大賞2011”」(平成24年2月)
- ★平成24年度河川整備助成事業優秀賞(平成24年10月)
- ★(公財)あしたの日本を創る協会「あしたのまち・くらしづくり活動賞・振興奨励賞」(平成24年)
- ★国土交通省九州河川事務所長賞(平成25年7月)
- ★第1回くまもと環境大賞受賞(平成25年12月)
- ★小さな親切運動(平成26年)
- ★アレックディクソン賞(ボランティアの神:成26年)
- ★河川管理財団平成25年・26年・27年・28年・29年・令和1年・2年・3年・4年度活動優秀賞
- ★くまもと里モン賞 個別活動部門(平成26年度)
- ★日本ユネスコ協会連盟「熊本県ユネスコ協会会員」登録:感謝状(平成27年)
- ★日本水大賞特別賞受賞(平成28年)
- ★国土交通省九州地方整備局感謝状授与(令和元年)
- ★熊本県「熊本環境教育賞」「熊本環境継続賞」受賞(令和2年)
- ★地方整備局主催海岸功労者海岸愛護賞 (都道府県4団体受賞)(令和2年)
- ★肥後の水とみどりの愛護賞継続賞 (令和3年)
- ★国土交通省大臣賞 水資源功績者表彰 (令和3年)
- ★2022年度 持続可能な社会づくり活動(ESD活動賞)表彰 (2022年11月)
- ★2023年度 河川功労者賞 (日本河川協会)
- ★2023年度 川づくり団体部門 優秀成果表彰(河川財団)
- ★2024年度 くまもとSDGsアクションプロジェクト くまもとSDGsアワード受賞
- ★2024年度 「故郷の宝『球磨川』を誇りに思い、次の世代へ引き継ぐ青少年の育成活動」受賞(河川財団)
- ★2025年度 河川財団「令和6年度河川基金助成事業」川づくり団体部門 環境大臣賞受賞

<団体指定・登録>

- 1)国土交通省「河川法第58条の8第1項の規定による河川協力団体指定」/平成26年3月31日
- 2)「熊本県ユネスコ協会の会員」登録/平成26年4月1日



2025年度 河川財団「令和6年度河川基金助成事業」川づくり団体部門 環境大臣賞受賞

主催/次世代のためにがんばる会(代表:松浦ゆかり)

<https://www.ganbarokai.net/>

E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081

後援/国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、  
ひのくにベントス研究所、NPO法人 海辺つくり研究会



「ECO Youth Yatsushiro」は、河川基金、地球環境基金の助成を受けて実施されます



河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています。



地球環境基金  
Japan Fund for Global Environment